

## 対アゼルバイジャン共和国 事業展開計画

2016年6月現在

<b>基本方針 (大目標)</b>	持続的な経済成長の達成と格差の是正に向けた支援の実施											
<b>重点分野 1 (中目標)</b>	経済インフラ整備											
開発課題 1-1  経済インフラ整備 (特にエネルギー、運輸)	【現状と課題】 旧ソ連時代に整備されたインフラ設備は老朽化が進んでいることから、持続的な経済成長を支えるためには、インフラの更新が重要な課題となっている。特に、経済成長の中心となるエネルギー分野や運輸分野の施設整備が重要となっている。					【開発課題への対応方針】 経済成長を維持するための基礎的インフラについて、これまで円借款による発電所の改修などの支援を実施してきたが、今後は経済活動のための基礎インフラ（電気、通信、港湾等）整備や、これらを円滑に進めるための制度の更なる整備に対する支援のニーズを確認し、効果的な協力を検討する。						
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
					2015 年度 以前	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度		
経済インフラ整備プログラム	旧ソ連時代に整備されたインフラ設備の老朽化が進んでいることから、経済成長のために経済インフラの改善に取り組む。	シマル・ガス火力複合発電所第2号機建設計画	有償							292.8		
		資源・エネルギー分野の研修	課題別研修他									

重点分野2 (中目標)	社会サービスの改善											
開発課題2-1 基礎的な社会サービス(保健、教育、上下水道等)及び災害対応能力の向上	【現状と課題】 基礎的な社会サービスの提供のために欠かせないインフラの多くは、旧ソ連時代に整備されたものであり老朽化が進んでいるため、再整備が不可欠な状況にあり、サービスの質の改善も課題となっている。保健、教育、安全な水の確保といった基礎的な社会サービスにおいて、ハード・ソフト両面の支援が必要とされている。また、災害に対して脆弱な貧困層を支援する観点から、防災対策の強化は喫緊の課題である。					【開発課題への対応方針】 人間の安全保障の観点から、貧困層が直接裨益する保健医療、教育、給水などの公共サービスの質と、公共サービスへのアクセスの向上を図るための協力が必要である。また、災害に対する貧困層の脆弱性を軽減し持続的な経済発展を図るための協力が必要である。医療、水供給等については、ハード面の整備と共に、技術協力により、インフラの維持管理・運営能力向上等のソフト面の支援を行い、効果的な協力に努める。						
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
						2015 年度 以前	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	
		地方都市上下水道整備計画		有償							328.51	
		上下水道分野の研修		課題別研修他								
		防災分野の研修		課題別研修他								
		保健分野の研修		課題別研修他								
		教育分野の研修		課題別研修他								
		病院マネジメント改善		国別研修								
		日本ブランド後発医薬品の普及促進事業		民間提案型技協		-----						
		地震防災・耐震技術		国別研修								
		地震工学及び災害管理		第三国研修								
		保健医療、環境対策分野等の草の根・人間の安全保障無償資金協力		草の根無償							0.19	

開発課題 2-2 格差是正に向けた農村開発及び産業開発の強化	【現状と課題】 市場経済化が順調に進展している一方、都市と地方の地域格差、所得格差が顕在化してきている。持続可能な経済発展のためには、このような格差の是正による貧困削減が不可欠である。特に、農業や農村開発、産業多角化のための中小企業振興支援や観光開発、民間セクター開発支援を進めていくことが重要となっている。			【開発課題への対応方針】 都市と地方の格差、所得格差の是正に向けて、農業や農村開発、民間セクター開発支援等といった分野において、技術協力や草の根・人間の安全保障無償資金協力などを通じた協力を推進していく。						支援額 (億円)	備考			
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間									
	格差是正に向けた農村開発及び産業開発支援プログラム	貧富の差や都市と地方の格差を是正すべく、農業や農村開発、産業多角化に向けた中小企業振興支援や観光開発、民間セクター開発支援を通じた貧困削減を行っている。	貧困農民支援	無償	2015年度以前	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度			2020年度	2.6	
			土地改良・灌漑機材整備計画(フェーズ2)	無償									7.7	
			民間セクター開発・中小企業育成分野の研修	課題別研修他										
農業開発・農村開発分野の研修			課題別研修他											

【凡例】 「協準」(＝全ての協力準備調査)、「詳細設計」(＝詳細設計)、「技プロ」(＝技術協力プロジェクト)、「開発計画」(＝開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」、「個別機材」、「国別研修」、「課題別研修他」(＝課題別研修及び青年研修)、「JOCV」(＝青年海外協力隊)、「SV」(＝シニア海外ボランティア)、「第三国専門家」、「第三国研修」、「現地国内研修」、「科学技術」(＝科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型))、「草の根技協」(＝草の根技術協力)、「〇〇省技協」(＝外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(＝開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「無償」(＝以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)、「水産無償」(＝水産無償資金協力)、「食糧援助」(＝食糧援助)、「一般文化」(＝一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(＝草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(＝緊急無償資金協力)、「日本NGO」(＝日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」(＝草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(＝円借款、海外投融資)、「マルチ」(＝国際機関等を通じた多国間協カスキーム)、「中小企業支援」(＝中小企業海外展開支援事業「基礎調査」、「案件化調査」及び「普及・実証事業」、並びに中小企業連携促進基礎調査)、実線「――」(＝実施期間)、破線「- - -」(＝実施予定期間)